



きままに川柳

お題「勤労」

お便り日和

テーマ「夫婦」

夫婦って？

おしゃべり天使(下石町)

斎藤茂太著「やっぱり夫婦！」の本紹介の見出しに「もともと『他人』だからおもしろい。年を重ねて本物になる」と書いてあったが、本物ってどういう事？もうすぐ金婚式を迎えるというのに分からない。

夫は家事を一切してくれた事がない。どこに何がしまつてあるのかも知らない。そんな夫に「私が先に逝った時、困るよ」と言えば「大丈夫。お前より絶対先に逝くから」と言う。もう「ケ・セラ・セラ」だ。夫を当てにせず自分の思うようにやっ

温もりの焼き物造り土岐の町  
働けど父の背中は遠くなり  
出勤する後ろ姿に無事祈る  
老夫婦働ける事に感謝  
タイムカード将来の夢込めて押す  
勤労の工事の旗に頭下げ  
稲刈りが早目に終わり風呂うれし  
母ちゃん的笑顔で出勤欠勤ゼロ

ている。でも三度の食事と就寝だけはいつも一緒。長年の生活でこれが当たり前になった。  
私がつだけ願っている事は、夫の手料理をぜひとも食べてみたい。



理想的な力関係

椿(土岐津町)

大抵の家がそうであるように、我が家では父よりも母が圧倒的に強い。同じく、兄夫婦も嫁さんが強い。きっと私もそうなるんだと父は笑い、「それがいいんだよ」と教えてくれた。  
父は母が大好きで、近くに寄ってはうつつとうしがられている。そんな姿を物心がついた頃から見てきたけれど、私も大人になってようやく、母はなんて幸せ者なんだと感じるようになった。でも絶対に、母も父が大好き。娘がそう思うのだから、いい夫婦に違いない。

祖母と仏壇

焼きいも

祖母は毎朝欠かさず仏壇に向かう。25年前に亡くなった祖父に向かって祈っている。亡くなった時、私はまだ幼かったが、忘れられない思い出がある。祖父と祖母、私の三人で、川の字になって眠っていたことだ。私が生まれるまでは、何十年と変わらぬ、二人並んで寝ていたのだろう。私に伴侶はいないが、仏壇に向かう小さな背中を見るたび、そんな風に思われている祖父も、亡くなった相手に祈り続けられる祖母も、うらやましく思う。

足立昌代  
ストレッチマン  
ラン  
ねね  
佐竹マスお  
かずえ  
チャム  
ジョージ

11月1日号の投稿募集

お便りテーマは「サヨナラしたこと」です。やめることができスッキリしたことや、今でこそ笑って話せることなど200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「暖」です。  
(1人1句)

締め切りは11月19日(火)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎ 1111(内線185) / FAX 7763

✉ koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。